

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	グローバル産業研究Ⅱ		TGB248
講義名（コード）	グローバル産業研究Ⅱ		TGB248
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	増村	時間数	30
成績評価教員	増村	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	本授業は、実務経験者による授業科目である。		授業形態

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	前期で学んだマクロ経済学のモデルをもとにして、実際の需給、金融市場の仕組みを理解し、経済政策の効果について、理解する。
全体の内容と概要	講義が中心であるが、授業で行ったモデルと現実の違い等について、ディスカッションもしていく。
授業時間外の学修	各国の経済状況、特に、日本とクラスの国のGDP、その国の主要産業について勉強しておく。
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	GDPと雇用について理解	1 総需要(YD)と総供給(YS)のグラフ (民間のみのケース) 2 デフレ・ギャップとインフレ・ギャップ
2	GDPと雇用について理解	3 総需要管理政策
3	貨幣市場分析について、利子について理解する	2 割引現在価値 3 投資決定と割引現在価値
4	金融市場について理解する	1 お金の役割 2 貨幣の機能 3 お金を持つ根拠は？ 貨幣需要(MD)の動機(1) 4 債券価格の計算 貨幣需要(MD)の動機(2)
5	金融市場と金融政策を理解する	1 経済全体のお金の量 2 信用創造の考え方
6	銀行の役割と中央銀行の政策	1 日本銀行 (日銀) の役割 2 金融政策
7	マクロ経済全体をグラフで表現 (IS-LM分析) できる①IS	1 IS曲線の商品市場 2 IS曲線のシフト 3 財政政策とIS曲線のシフト
8	マクロ経済全体をグラフで表現 (IS-LM分析) できる②LS	5 LM曲線のシフト 6 古典派の貨幣市場
9	マクロ経済全体をグラフで表現 (IS-LM分析) できる③IS・LM	1 財市場、貨幣市場の同時均衡 2 古典派による財政政策の無効性の主張
10	マクロ経済全体をグラフで表現 (IS-LM分析) できる④IS・LM	3 ケインズのクラウディング・アウト 4 最適な消費量の決定
11	労働市場理解	1 古典派の労働市場の考え方 2 ケインズの労働市場の考え方
12	労働市場理解	3 非自発的失業の解消
13	後期授業のまとめ	後期授業のまとめ
14	期末試験	期末試験の実施
15	期末試験の解説	解説

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	茂木喜久雄 (2019) 『絵でわかるマクロ経済学』 (講談社)
参考文献・資料等	ニュースリテラシー研究所著 (2020) 『図解まるわかり時事用語2019-2020』 (新星出版社)
備考	